



至 創 努 校
誠 造 力 訓

め た せ こ い あ

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937

電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742

HP アドレス <http://www.shimanet.ed.jp/yoshika/>

特別授業「よのなか科」

吉賀高等学校 校長 齋藤雅典

8月に行われた「よしか塾」(吉賀地域中高一貫教育の取り組みの一つです)の中で、町内中学生対象の特別授業がありました。授業をされたのは、教育改革実践家の藤原和博先生です。先生は25年間リクルートに勤めて東京営業統括部長などを歴任された後、杉並区立和田中学校で東京都として義務教育学校初の民間人校長を務められた方です。授業は先生が和田中学校で行ってこられた「よのなか科」の授業でした。

ハンバーガー店をどこに出店するか、^{はや}流行る店の特徴は、職業の関連図をつくろう、今まで世の中になかった仕事を考え出そう、職業による時給の差は何かからくるのか。グループごとにこんな事を考え、話し合い、発表しました。参観している大人もグループに入るようにという先生の指示に従って、私も一つのグループに加わらせてもらいました。企業の第一線で仕事をしてこられた経験と実績に裏打ちされた言葉には強い説得力があります。興味を引きやすい内容だったということもあり、歯切れの良い口調に促されての2時間は、あっという間でした。「よのなか科」の授業について藤原先生はこのように書いておられます。



私は和田中で100以上の改革を行ってきましたが、イノベーションの典型ともいえるのが、「よのなか科」です。これは、正解を教えるのではなく、正解のない問いに対してブレインストーミング、ディベート、ロールプレイをしながら、自分の意見をプレゼンテーション(表明)する授業です。つまり、「よのなか科」は、時代の変化を考慮し、生徒の実態や保護者のニーズなどをマーケティングした結果として、「自分の意見を持ち、外に向かって発信できる生徒」を育てることをねらいとしたもの。そこに地域社会の人たちも巻き込み、大人と子どもと一緒に学ぶことで、双方が学びを深める仕組みを作りました。(藤原和博『「創造的」学校マネジメント講座』)

和田中は「よのなか科」の他にもたくさんの先進的取り組みを行っています。その結果、先生が校長を務められた5年間の間に、生徒の学力が飛躍的に向上しました。先生はこんなことも書いておられます。

学校において最も大切なことは、子どもたちがよい学習習慣と生活習慣を身につけることではないでしょうか。

(前掲書)

吉賀高校でも地域のたくさんの方に指導をいただいて「聞き書き」や「アントレプレナーシップ教育」など、「よのなか科」と似たようなことを行っています。しかし、子どもたちに「よい学習習慣と生活習慣」を身につけさせることに成功しているか?と自問すると、まだまだやるべきことがたくさんあることに思いあたります。藤原先生の特別授業と講演、そして、そこで紹介いただいたいくつかの著書は、吉賀高校が今後なすべきことのヒントを与えてくれました。貴重な機会を与えていただいた吉賀町教育委員会に心より感謝いたします。

よしか祭開催

よしか祭が行われます。現在、3年生を中心に積極的に準備に取り掛かっています。様々なイベントが実施される予定です。是非、よしか祭に来ていただき、高校生のエネルギーを感じ取ってもらいたいと思います。

テーマ『 彩(いろどり) 』

9月5日(金) 文化祭1日目(9:15~)
9:30~ プレゼン&ディスカッション
11:00~ 山根万理奈ライブ
12:10~ 生徒会よしか祭紹介
12:20~ 展示見学
13:20~ 音楽部発表
13:40~ 吉高ムービーコンテスト
~15:20 1日目終了

9月6日(土) 文化祭2日目(9:15~)
9:05~ 展示見学
10:00~ 吉高マーケット
1年1組 たこ焼き、クッキー、冷凍フルーツ
2年1組 かき氷、お好み焼き
2年2組 唐揚げ、フランクフルト
3年1組 焼き鳥、ジュース
3年2組 焼き鳥、アイスクリーム
※鮮魚販売は11:00~
※13:00終了予定
13:20~ 生徒会企画・有志発表
~15:00 2日目終了

9月7日(日) 体育祭(9:15~)

実施種目(実施順)

(午前) 入場行進・開会式・ラジオ体操・障害物リレー・

竹取物語・騎馬戦(男子)・借り人競走・綱引き・スウェーデンリレー・幼児旗とり

(午後) 応援合戦・百足リレー・いかだ流し・騎馬戦(女子)・ミスターミス吉高・

色別対抗全員リレー



よしか祭ポスター原画

房崎真澄さん(2年2組)の作品



陣地のデコ作成の様子



応援の練習。大騒ぎ・・・。

よしか塾開催

今年もよしか塾が開催されました。多くの中学生が参加し、大学生や高校生の説明を受けながら、一生懸命勉強をしていました。高校生は、教えることで自分自身の知識を改めて整理する機会になったようです。中学生だけでなく、高校生にとっても実りの大きなイベントとなったようです。



聞き書き

『聞き書き』が実施されました。吉賀高校ではキャリア教育に力を入れています。その一つの手段として、この活動を実施しています。地元を調べ、もっと地元を知ること自分たちに何ができるかを考えます。この活動の過程がキャリア教育として重要な意味を持ちます。夏休みを利用して、実際にインタビューを行いました。アポのとり方やインタビューの許可等、実際の取材活動に必要なことは生徒自身で行いました。これから数年先に社会人としてはたらく事になることも意識して、一つ一つの取り組みを真剣に行っていました。



『白谷神楽』の聞き書き。この他にも多くの場所で聞き書きを行いました

情報モラルワークショップ

7月18日の午後から、携帯やパソコンを使ってネットワークを利用する上で、きちんとしておかなければならない事について勉強をしました。ネット上に潜む危険にどのように対処し、そして回避するかをしっかりと学ぶ機会になりました。東京から多くのアドバイザーの方も来校され、いくつかのグループに分かれ、活発な議論をしながら、考えをまとめていく活動を実施しました。それぞれの生徒がしっかりと考えを深める事ができたようです。



夏季補修や部活動取り組みの様子

＜夏季補習＞ 夏季補習が前期と後期に分けて実施されました。夏休みの学習の取り組み次第で学力に大きな差がでます。特に3年生であれば就職試験や受験を控えています。その手助けになるのが夏季補習です。参加した生徒たちは、その事を自覚して一生懸命学習に取り組みました。

＜各部活動の様子＞

部活動についても活発に活動しました。運動部の生徒は、暑い中一生懸命体を動かし、真っ黒に日焼けしていました。文化部の生徒も積極的な活動を行いしっかり力をつけたようです。本年度から発足した地域クラブでは、地元で開催された祭りにボランティアとして参加もしました。



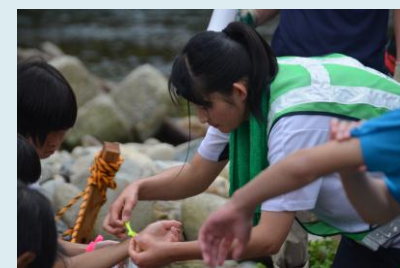
模擬試験の様子。3年生。



夏のスポーツと言えば、サッカー部！



猛特訓中！ソフトテニス部。



地域クラブのボランティア活動。

オープンスクール

8月19日に、吉賀町外から中学生とその保護者を招いてオープンスクールを実施しました。この企画は島根県が企画したもので、中学生が島根県内の高校を見学するというものです。その一つとして、吉賀高校にも来校がありました。吉高の生徒が出迎え、和やかな雰囲気の中で学校の説明等を聞いてもらいました。一人でも多くの中学生に吉賀高校の事を知ってもらい、それが入学につながる事を期待しています。



遠くは、大阪府からのご参加もありました。ありがとうございました。

中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内)-

吉賀高校 1年生から手紙が届きました。

夏休みに入った7月下旬、町内4中学校の先生方に手紙が届きました。差出人は吉賀高校1年生です。4か月前までは中学3年生だった生徒の名前を見て思わず懐かしさがこみ上げ、急いで読みました。国語科の現代文の授業で取り組まれたということでしたが、社会人を感じさせる文章に、高校生としての自覚や成長を感じました。

何気なく届いたように見える手紙ですが、担当の先生の思いが感じられ、心が温くなりました。中高で連携しているからできることではないかと思います。これからもこのような交流が無理なく行われていくような雰囲気が出来上がっていくといいなと思います。

